

幸田町	所属議員	田境 毅
------------	------	------

産業目線

【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応	
具体的取り組み項目	<p>次世代自動車の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年策定予定の「第2期幸田町環境基本計画」へカーボンニュートラル実現に向けた具体的項目および数値目標を反映する 	
前回まで 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・研修などで得た国・県・他自治体の取り組み情報を、町主管課はじめ関係課と共有。方向性を確認。 ・議会での提言および日常活動での働きかけを実施 など 	
今回 具体的活動	<p>主な取り組み</p> <p>○議会での質疑など</p> <p>6月議会一般質問 主な答弁（令和5年度は5部長が新人、改選後初の定例会） 【安全で円滑な交通体系構築に向けた歩道の安全対策 など】(強化の必要な交通インフラの整備を観点に提案) (建設部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガードパイプの設置 最優先で「小学生40人、通学路歩道幅2メートル未満で植樹帯の無い歩道を、概ね5年以内に対策」に加え、町として、中学生も含めた防護柵設置を進める。今後も基準にとらわれず引き続き、協力機関と安全対策を進める。課題を整理し令和6年度整備を検討。取り残される所が無いよう把握に努める。 ・自歩道化の考え 令和4年度通知により自転車は車道を通行する。自転車通学が最も安全なルート選定や整備を行う。 ・横断者を認識しやすくする対策 横断者を認識しにくい場所には照明を設置しており町管理道路照明は446基。農作物や近隣住宅への影響など課題に対しては、光害対策型街路灯導入を検討し県にも要望していく。 (総務部長) ・歩行者用LED信号機の拡充（制限速度40キロメートル以上の路線および大きな交差点） 地域要望が後押しとなることから優先度を見極め、道路管理者等と連携し計画的に岡崎警察署へ協議、働きかけたい。 ・交通集中時の生活道路通り向け対策 幹線道路と生活道路を明確に区分し、対策することが必要。道路管理者等と連携し、国県等への要望を含め、包括的な交通安全対策に取り組むたい。 <p>○議会以外での働きかけなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道安城幸田線の2年連続冠水への対応 → 隣接の住宅エリアも含めた排水対策の検討(1000万円)を新たに始める ・国道23号蒲郡バイパス接続工事による全面通行止めに対する、町内の交通安全啓発行動・円滑な交通体系維持管理 (県より、9月1日以降年末まですべての大型車は幸田芦谷インターを通じて国道248号へ迂回が発出) →町企業立地課の発信により、町内全事業者との情報共有。 <p>○研修等で得た国・県の取り組み情報を、町主管課はじめ関係課と共有。</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p> <p>○一般質問 通学路交通安全対策はガードパイプ設置</p>    <p>○冠水による県道通行止め</p>  <p>○幸田町の交通環境変化 (国道23号バイパス4か月間の通行止め)</p> 
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・改選後新体制での継続的な町職員に対する働きかけおよび、町議会の意識啓発と具体的施策、目標値の共有。町既存媒体を活用した町民への発信。 ・必要に応じ、県や関係団体への対策要望などの情報共有支援を継続する。 	